

## 地域の出版社や書店との連携について

【関連：目標3（3）】

ふくおか資料室

### 【事業目的】

- 地域の出版社や書店と連携・協力し、福岡県に関する出版物等を収集・保存し、利活用のための情報発信を行うことにより、地域文化の継承・発展を支援する。

### 【事業概要】

- 福岡の出版社・書店の広報
  - ・令和2（2020）年度に「ふくおか資料室」のホームページ（以下HP）をリニューアルした際に、併せて「福岡の出版社」のコンテンツを開設した。HP掲載の承諾を得た出版社の所在地がわかる地図と、出版社の連絡先とHPアドレス、出版社の自己アピール文を一覧化したリストを公開した（令和4（2022）年7月現在17社掲載）。
  - ・令和2年5月には、本館1階エントランスホールで「福岡の出版社」をテーマに企画展示を行い、その概要を「福岡の出版社」のページで紹介した。
  - ・今年度は、事業目的に基づき、HP「福岡の出版社」（改称予定）中に新たに「福岡の書店」一覧リストを設け、書店を紹介する。

#### ≪現在掲載中の出版社（HP掲載順）≫

1 梓書院	2 図書出版 海鳥社	3 花乱社	4 九州大学出版
5 行舟文化	6 弦書房	7 集広舎	8 株式会社書肆侃侃房
9 石風社	10 中国書店	11 西日本新聞社	12 春吉書房
13 公益社団法人 福岡県人権研究所	14 古小鳥社 (ふるこがらすしゃ)	15 聞平堂 (ぶんぺいどう)	16 忘羊社
17 図書出版木星社			

#### ○講演会の開催

- ・今年度は10月29日に、「明治・戦後の福岡の出版」をテーマに2名の講師を招き、講演会を開催する。

### 【成果と課題】

#### ○成果

- ・昨年度の「福岡の出版社」アクセス数は1451件であった。一月平均100回以上閲覧されていることになり、一定の広報活動を担ったと考えられる。

#### ○課題

- ・出版界ではコロナの巣ごもり需要の影響で販売が伸びる一方、書店の数は減少している。『出版指標年報』2022年版によると、2020年の出版市場は、前年度比104.8%となる一方、書店の数は10年前に比べると3割ほど減少した。
- ・その状況の中で、当館としては読書習慣の定着のためHP上に新しく「福岡の書店」を追加掲載して「福岡の出版社」と同様、「福岡の書店」の周知を図る。
- ・今回の講演会を通じて、県民に福岡の出版についての教養を深めてもらい、地域文化に対する興味喚起につなげる。今後も出版社や書店と連携しながら、地域の出版社・書店の発展に寄与する様々な取組みを推進する必要がある。